

太平洋クラブってどんな会社？

全国に18のコースを持つ  
会員制ゴルフクラブ

太平洋クラブは創業50年以上の歴史を持ち、会員数約1万9000人を有する、国内最大級の共通会員制ゴルフクラブです。全国に18コースを展開する上に、海外には25の名門コースと提携しています。一流のお客様が集まる場所ですから、キャディの質も一流。ゴルフクラブという敷居が高そうに思われるかもしれませんが、実際に来てみるとゴルフ場は美しく、笑顔が溢れる楽しい場所だと実感できます。まずはお友達同士で会社見学会へお越しください。

Q.1 ゴルフの知識が  
ゼロでも大丈夫？

A. 入社後100日間の研修プログラムがあるので大丈夫です。トレーナーは、太平洋クラブ所属のプロゴルファーを始め、経験豊かなスタッフが丁寧に指導します。実際、キャディ職の入社時はゴルフのルールも知らない未経験者がほとんどです。

Q.2 お給料は？

A. 高校卒の新卒社員の初年度平均年収は、150～180万円と言われてはいますが、太平洋クラブのキャディ職は、一人で業務できるようになることで、平均23万円の月収になり、単純計算でも300万円程度の年収を得ることになります。

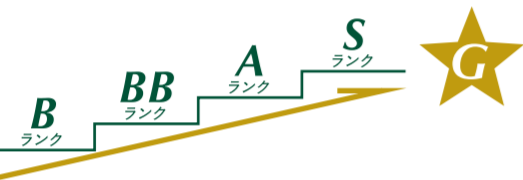
Q.3 福利厚生は？

A. 充実しています。なかでも住宅と賃料補助は最大の魅力です。物件は規程に基づき会社で選択しますが、敷金・礼金を会社に負担するだけでなく、引越費用も全額会社負担としています。家賃の個人負担は、月額家賃の10%のみです。

キャディ募集要項

- 【給与】 月給25万7000円 ※月額平均実績・月ごとに若干の変動あり(研修期間中は月額平均18万4千円)
- 【諸手当】 通勤手当、時間外手当など
- 【昇給】 年1回(4月) ※キャディランクに伴う
- 【賞与】 年2回支給(7月、12月・他、決算賞与あり)
- 【勤務地】 全国のゴルフ場18コース
- 【勤務時間】 実働7時間30分(勤務開始・終了時刻はシフトローテーションにより変動)
- 【休日休暇】 週休制(シフト制、変形労働時間制)、年次有給休暇、母性健康管理のための休暇等、出産休暇、看護休暇、介護休暇、育児休業、介護休業
- 【保険】 雇用保険・労災保険・健康保険・厚生年金保険
- 【福利厚生】 借上住宅・寮制度有、退職金制度、確定拠出企業年金制度、ゴルフ場従業員優待料金・ホテルの優待利用(ホテルはリゾートコースに限る)、従業員食堂など
- 【募集】 全学科 ※普通免許要(誕生月が1月2月3月の方は、応相談)
- 【問合せ】 メール・電話にて総務人事部ESCS担当まで  
Tel:03-5219-8195 Fax:03-5219-8201 E-mail:saiyo@taiheiyoclub.co.jp

ランクの仕組み(昇給)



キャディのランクは入社時の「B」から最高ランクの「S」まで5段階あり、これに伴って昇給します。年ごとの評価により翌年のランクが決まります。 ※G・・・全社キャディに教育を展開する。

勤務地(●はキャディ募集コース)

- <北海道>
  - 北海道石狩市 札幌コース
- <関東エリア>
  - 福島県岩瀬郡 白河リゾート
  - 群馬県吾妻郡 軽井沢リゾート
  - 群馬県安中市 高崎コース
  - 埼玉県熊谷市 江南コース
  - 栃木県佐野市 佐野ヒルクレストコース
  - 栃木県芳賀郡 益子PGAコース
  - 茨城県小美玉市 美野里コース
  - 茨城県東茨城郡 大洗シャワーウッドコース
- <関西エリア>
  - 千葉県成田市 成田コース
  - 千葉県市原市 市原コース
  - 千葉県八千代市 八千代コース
  - 神奈川県秦野市 相模コース
  - 静岡県御殿場市 御殿場コース
  - 静岡県御殿場市 御殿場WEST
- <その他>
  - 兵庫県三木市 六甲コース
  - 兵庫県三木市 有馬コース
  - 兵庫県宝塚市 宝塚コース

随時開催中! 職場見学の参加のみでもお気軽にお申込みください。

遠方からの旅費・宿泊費・飲食代などは当社が全額負担いたします。

詳細・日程などについてもお気軽にご連絡ください。(株)太平洋クラブ総務人事部ESCS担当

職場見学申込専用ダイヤル

TEL.03-6272-6973

株式会社太平洋クラブ 〒100-6228 東京都千代田区丸の内1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス丸の内28階 TEL.03-5219-8195(代)



Taiheiyo Club

キャディのお仕事 BOOK

BOOK OF CADDY'S WORKS

私たち、キャディになって  
アレもコレも充実しちゃいました。



WE ARE TAIHEIYO CLUB CADDY'S

プロのお仕事を  
のぞき見!

「キャディ」のお仕事、ご紹介します!



人事部 ES-CS推進担当 萩原 千春さん

人事部 ES-CS推進担当 山室 虎鉄さん

キャディのお仕事は、お客様の快適なプレーをサポートする接客業務。では実際、コースでは具体的にどんなことをしているのでしょうか? 採用担当として採用に携わるだけでなく、入社後も親身になってキャディさんのサポートをしてくれる人事部の若い2人がレポートします!

1 お客様のお出迎え



まずは丁寧なおじぎでお客様をお出迎えます。ゴルフバッグをお預かりしたら、担当キャディがコースに出る準備を始めます。

最高のゴルフは、最高のおもてなしから!

4 ボールの位置や状況によって、次のショットのアドバイス



次からのショットは、お客様のボールの位置や状況を見て狙い目までの距離を測り、使うクラブや打つ方向などをアドバイスします。

7番アイアンですわね! 快速にドライバーを飛ばすために、しっかりと準備を!

2 カートを運転してコースをご案内



コース内では、電動カートにお客様とお荷物をお乗せして移動します。運転中も次のコースの特徴や攻略方法をご案内します。

3 コースごとの攻め方をアドバイス



コースを攻略する上で、最初のショットはとても重要! 風の状況やコースの情報を確認しながら、打つ方向などをアドバイスします。

コースのことを熟知してらんですね!

5 グリーン上の傾斜と狙い目のアドバイス



ボールがグリーンに乗ったら大詰めです! グリーンには傾斜があり、ボールの位置によって右へ左へ曲がります。ボールから直径約10cmのホールとの間を様々な角度から確認し、曲がる方向をアドバイスします。キャディにとって、一番力が入る場面だそうです。

軽いクラブライプですわね!

ほかの接客業とは  
ちょっとちがう!

「キャディ」のここが魅力!

魅力1 1万9000名のメンバー様との出会い!

太平洋クラブには富裕層の方も多く会え、メディアに登場するような会員様を接客することもよくあります。著名な方のプライベートに接する仕事でもあり、対話することも多々あります。この出会いは、太平洋クラブならではの魅力です。

魅力2 健康的なお仕事!

キャディは広大なコースを案内する仕事。1日の業務量を歩数計算すると、最低でも1万歩以上! キャディの仕事は、健康維持、ダイエットにも効果抜群。太陽の下、身体を動かす仕事をしたい人にとっては、最適な職種です。

魅力3 時間効率が高いお仕事!

キャディには残業がほとんどありません。朝は早いですが、その分業務終了も早く、午後3時前後に終わることがほとんど。自由な時間を使ってプライベートも充実させましょう。

自分の時間が  
ちょっとつくれる  
健康な生活

「キャディ」の1日ってこんな感じ!



朝はちょっとだけ早めです

7時出勤のときは5時起き。朝が弱い人は、最初は辛いかもしれませんが、この健康的なサイクルにすぐに体は馴染みます。

ラウンド中はサポーター

キャディはナビゲーターでありサポーター。お客様に快適にプレーしていただくために、ご要望を先読みして行動。

ラウンドの準備とお客様のお出迎え



お預かりしたゴルフバッグをカートに載せ、1本1本丁寧にクラブをチェックしたらスタンバイOK! お客様をお待ちします。

ラウンドの合間にしっかりランチ



お客様のランチ休憩時間は、キャディも社員食堂でランチを食べます。1食250円と格安で美味しいランチをいただきます♪

岩手県出身  
name 島下 京香さん  
age 21  
experience 4年目  
course 美野里コース勤務

上記のスケジュールは一例です。担当するお客様のスタート時間や天候などによって変動します。

「趣味活充実キャディ」

島下 京香さん

21歳 / 岩手県 出身  
美野里コース 勤務

PROFILE

岩手から茨城県へ引っ越し、一人暮らしする際、家族は不安がっていましたが、太平洋クラブの手厚い福利厚生の内容を見て、安心して送り出してくれたそうです。就職してから始めたゴルフの腕前は、「迷惑かけずに回れる」程度だそうです。

終わる時間がめっちゃ早いので  
趣味活がはかどってます！

カフェ巡りやショッピング、ゴルフにプチ旅行、これ、ゼーンぶ仕事終わりにできます！

高校時代から接客業につきたいと思っていました。そして、やるならできるだけ一流の接客を学びたいと思って、一流ホテルとか、高級レストラン、ショップの店員さんとか、一通り探しましたね。「キャディ」は思ってもみませんでした(笑)。ゴルフの「コ」の字も知らなかった私が初めてキャディを知ったのは、太平洋クラブの職場見学会でした。行ってみたら「私が探してたのってこれじゃん!」って思いましたよ。だって、キャディってある意味接客業の最高峰じゃないですか? お客様と近くて、長い時間を共にして、コースをご案内して、会話して、一緒に喜んだり、ときには一緒に悔しがったりする。お客様が楽しめるかどうかは、キャディの接客にかかっています。説明会で話してくれた現役キャディさんたちは、みんな充実感であふれててキラキラして見えました。私もあんな風になりたい!って一目で憧れちゃいましたね。

キャディになって良かったなって思うことは……。一番はやっぱり、自由に使える時間が多いことです。仕事のある日は5時起きで朝はめちゃくちゃ早いですけど、その分終わるのも早い。基本は15時終わり、たまにですが、14時過ぎに上がれることもあります。家に帰っても、まだ空は明るいんです。一日はまだまだたっぷりあります。嬉しくなっちゃいますよね。

私、趣味が多いんですよ。カフェ巡りやショッピング、旅行も好きです。もちろんゴルフもやります。これ、仕事終わりにゼーンぶできます! さすがに旅行はお休みを取らないと行けません、次の日がお休みならば、仕事終わってからプチ旅行くらいには行けちゃいます(笑)。

私の場合、趣味活がはかどるとお仕事も充実します。4年前に説明会で見た憧れのキラキラキャディに、今の私はなれているかな?

私たち、  
仕事もプライベートも  
「〇〇充実キャディ」  
です!

「キャディになって、  
どんなことが充実してますか?」  
太平洋クラブで働く「充実キャディ」たちに  
聞いてみました!

趣味活、ゴルフ、友達づくり、健康、  
そしてキャリアアップ。  
5つのケースを紹介します。



コースでは、お客様が何を求めているかを常に考えながら行動するという島下さん。1日の最後に、お客様から「今日は楽しかったよ」と言われたときが一番幸せな瞬間とのこと。

「ゴルフ充実キャディ」

石原 莉奈さん

23歳 / 兵庫県 出身  
六甲コース 勤務



ゴルフのスコアが充実するとキャディの仕事も充実します!

就活のときに初めてキャディという職種を見つけて、「私にもできるかな……」って志望しました。というのも私、中学生の頃に父の影響でゴルフやってたんですよ、しかもけっこう熱心(笑)。ゴルフはずっと好きだったし、キャディも面白そうだなと思ってたので、ほとんど迷いはなかったですね。太平洋クラブの六甲コースは実家から近く、ゴルフ好きの父もよく知っていたようで「いいじゃないか、行け行け」とノリノリでした。キャディになって5年目になりますが、就職前と一番変わったのって、そうですね……やっぱりゴルフのスコアです(笑)。入社当時は100打前後だったのが、今では80台で回れるようになりました。とにかくここはゴルフの練習設備がすごく整ってるんです。コース内にはアプローチ練習場やパッティングの練習場、バンカーショットの練習場まであります。この充実設備が、営業時間外なら使い放題! タイミングが合えばプロゴルファーを目指す研修生に教えてもらえたりもします。仕事終わりに週に2~3回は練習します。もちろん、スコアが上がって「嬉しい!」ってだけじゃないですよ。ゴルフが上達すると、キャディのお仕事にも確実に生きてきます。最適なクラブ選び、バターのラインなどなど、スコアに比例して正確になってきているのを実感できるんです。趣味が仕事に生かせる職場って最高じゃないですか?

「友達づくり充実キャディ」

松田 ひかりさん

24歳 / 愛知県 出身  
金乃台カントリークラブ 勤務



お客様と接しているうちにコミュニケーション力が磨かれました!

キャディの仕事の面白さって、正解がないことだと思うんです。お客様の性格も、楽しみ方も、それぞれみんな違うから、答えは毎日変わる。これってすごく自分自身の成長につながります。たとえば「ナイスショット!」って言うじゃないですか。実はあれもお客様によってぜんぜん違って、ドライバーショットが真っ直ぐ飛んただけで喜んでいただける方もいれば、下手なお世辞のように感じてしまう方もいます。ほかに、バンカーショットの後はキャディが砂をならすんですが、感謝していただけることもあれば、「それは打った本人がやるべきだから」と、マナー意識がとても高い方もいらっしゃいます。お客様それぞれの個性を解き明かしていく作業が楽しいです。そのヒントはどこにでもあって、最近はゴルフバッグを見るだけで見えてくることもあります(笑)。「ああ、この方は冗談の好きなお客様だな」「スティックにゴルフに打ち込みたいお客様だな」というようなことを考えながら、あらゆるお客様に楽しんでいただけるような接客を心がけています。毎日そんなことを考えているから、コミュニケーション能力は相当磨かれたと思います。私はキャディになって6年目で、すでに2度の転職を経験していますが、友達づくりには苦労しなくなりましたね。美野里コース、八千代コース、そして現在所属している金乃台カントリークラブ、それぞれの職場に仲の良い同僚がいて、それぞれのコース周辺には行きつけの居酒屋があって、それぞれのお店に飲み友達があります(笑)。

「健康生活充実キャディ」

本多 七海さん

19歳 / 埼玉県 出身  
江南コース 勤務



仕事そのものがヘルシー! 生活リズムもって本当に大事ですね

1年目のキャディは覚えることが多いので、正直今は遊ぶ余裕はあまりありません。毎日たくさん、眠ささえあれば寝ちゃってます(笑)。でも、辛いかって言われればぜんぜんそんなことはなくて、一日一日がすごく楽しい! 仕事は、上司や先輩の皆さんがとても丁寧に教えてくれるので、日々成長しているのが自分でも実感できます。上手にできると、本当に些細なことまで褒めてくださるので、毎日充実! 私、褒められて伸びるタイプなんです(笑)。何より健康的なのがいいですね。毎朝4時に起きて夜は8時には眠くなっちゃうという早寝早起きのサイクルが身につくし、欠かさず運動してるのもいい! おいしいものを我慢しなくても絶対に太りません(笑)。私は昔から肌が弱くて悩んでたんですけど、この間、ずっと診ていただいているお医者さんに行ったら「劇的に良くなった!」って驚かれました。ずっと抱えていた悩みのひとつだったので、これは本当に嬉しかったです。生活リズムもって本当に大事ですね。仕事は大変ですけど、シフト制なので休みはしっかり取れます。希望を出せば、まとまった休みも取れますよ。私なんかこの間、家族と1週間の沖縄旅行に行ってきました。入社して数ヶ月だったけど「何も後ろめたいことなんてないよ」と、まわりの皆さんが後押ししてくれました。仕事に余裕ができるようになるまでにはもう少し。でも、この職場なら乗りこえられそうです!

「キャリアアップ充実キャディ」

望月 花桜さん

19歳 / 山梨県 出身  
御殿場コース 勤務



ろう者のためのキャディになるそれが将来の目標です!

高校2年生の頃から「キャディになろう」と決めてました。私、元々ゴルフを観るのが好きで、実際にゴルフ場へ男子ツアーゴルフを観にいらしてたんですよ。その頃からずっと「キャディさんってカッコいいな」って、憧れてましたね。だから以前から太平洋クラブのことは知っていました。特に私が所属している御殿場コースはVISAマスターズの開催地で、毎年、国内外のトッププロが一同に集まる名門中の名門です。太平洋クラブのキャディになれば、好きな一流ゴルフアーに付くこともあつのかな……なんて思ったのが志望の決め手です(笑)。私には昔キャディをやっていた叔母がいて、相談すると「キャディは大変だよー」なんて脅されていたので、入社前は少し不安だったんですよ。でも入ってみて、不安なことは何もありませんでした。職場の先輩は優しくしてくれるし、同期は8人もいて心強い。休みもしっかり取れるし、仕事は早い時間に終わるから、自分の時間がないなんてこともありません。叔母とは時代が違うのかしら(笑)。将来は……まだ2年目なので、具体的にどうすればいいかわからないですが、ろう者のためのキャディになることが目標です。ろう者の方——耳の聞こえない方って、キャディを付けることが難しいんです。私は高校時代に手話を勉強していたので、キャディとしてそれを活かせるかと考えています。これは、どんなことがあってもとどろきたい目標です。そのために、まずはキャディとしての経験をいっぱい積んで、スキルアップに励んでいきます!



先輩にインタビュー!



TAIHEIYO CLUB GINZA  
太平洋クラブが東京・銀座で運営するメンバー限定のクラブ。ダイニングバーで最高級の料理に舌鼓を打ちながら、最先端のゴルフシミュレーターでバーチャルゴルフを楽しめます。

「キャディをやっておいてよかった!」  
元キャディで現「TAIHEIYO CLUB GINZA」スタッフの岸本さんにお話を聞きました!

キャディ時代に接客業の極意が身についていた。キャディを経験すると大人になるスピード。が、ものすごく早くなるように思います。日々の業務では、社長や会長など、数々の成功体験をされているお客様と触れ合っている、自然と意識が変わってきます。さらに同年代・別職種と比較すると収入が高く、自由になる時間も多いため、若い間から自分磨きに動かし余裕も生まれます。私は現在24歳なんですけど、同い年の同期の一人に、起業して現在は会社を営んでいる子もいます。彼女にも絶対にキャディの経験が生きているな、と感じます。私は4年半キャディ職を経験したのち、こちらに転職してきました。

業務内容はまったく異なりますが、思いのほかスムーズに切り替えられましたね。働く場所が屋外でも室内でも、時間帯が朝でも夜でも、接客業の根本は変わりません。それが、キャディ時代でしっかり身につけていたんだな……と今は実感しています。18歳の頃はゴルフのルールも知らなかった自分が、「キャディ」という仕事で磨かれて、今では一流の皆様が集うこの場所でもおもてなしをしています。そして、そんなお客様から「とても24歳とは思えない!」……なんて言われる大人になりました(笑)。ここで得た経験やスキルは、仕事だけでなく、今後の長い人生にも役立つものだと思います。



岸本 あすかさん  
24歳 / 大阪府 出身  
TAIHEIYO CLUB GINZA 勤務

INTERVIEW